



たんぱくによろ

蛋白尿と血尿の見方



東京女子医科大学附属八千代医療センター
腎臓内科 小池美菜子

蛋白尿・血尿とは？

蛋白尿・血尿は尿を検査する【検尿】によって判断します。尿中に、血液中の蛋白や赤血球がもれ出ている状態を表します。尿の色が赤くなくても、血尿の場合があります。

◎ なぜ蛋白尿・血尿をしらべるのか？

いろいろな病気を発見するのに非常に役立ちます。腎臓の病気は自覚症状がないまま進行することが多いので放置されがちですが、特に蛋白尿が多く、血圧が高いと、腎臓は次第に機能しなくなります。

- 蛋白尿と血尿が認められる場合

まんせいしきゅうたいじんえん どうによろびよろせいじんしやう
慢性糸球体腎炎・糖尿病性腎症などの腎臓の病気や高血圧による腎障害。膠原病による腎障害など

- 血尿が主に認められる場合

ひによろき
泌尿器系の癌・結石、膀胱炎、前立腺炎など

慢性腎臓病とは？

3ヶ月以上持続する尿異常もしくは腎機能が約60%未満まで低下した状態をいいます。この、慢性腎臓病対策を進める取り組みが、世界中で進んでいます。

腎機能が約10%未満まで低下すると末期腎不全となり、透析や腎臓移植が必要な状態となります。

また、慢性腎臓病は、心血管疾患および末期腎不全発症の重要な危険因子です。慢性腎臓病の治療には、まず第一に生活習慣の改善（禁煙・減塩・肥満の改善）が大切です。そして、腎臓専門医を受診することをおすすめします。

検診が大切

尿の異常は、自覚症状がないことが多いので、検診による定期的な尿検査で早期発見に心がけましょう。再検査を指示されたら、専門医を受診してください。



東京女子医科大学
八千代医療センター
TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHITO MEDICAL CENTER

